Japan Lifeline Co., Ltd.

2010年3月期第2四半期決算説明会

2009年11月11日

日本ライフライン株式会社

Japan Lifeline Co., Ltd.

第2四半期決算報告
通期業績予想

常務取締役管理本部長
政 次　浩 二

第2四半期累計決算のポイント

◆売上高 前年同期比 11.7％増（個別業績）

◆ペースメーカおよび自社製造製品の販売が好調

ペースメーカの販売数量　前年同期比 25.4％増

◆人工血管切り替えに伴う大幅な売上減少

人工血管売上高　前年同期比 76.9％減　予想比4.3％増

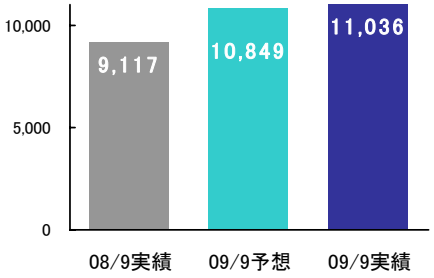
◆売上高総利益率　4.4％改善（個別業績）

※個別業績：　前年同期は非連結

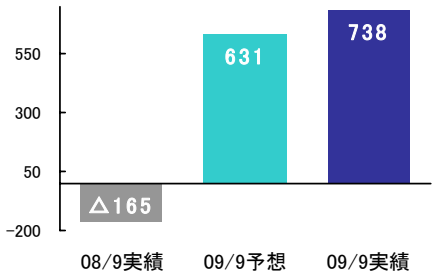
2010年3月期第2四半期累計業績

	2009/3期	2010/3期		
	2Q累計 実績（単体）	2Q累計 予想（連結）	2Q累計 実績（連結）	
（単位;百万円）	金額	金額	金額	予想比増減率
売上高	9,117	10,849	11,036	101.7%
営業利益	△165	631	738	117.0%
経常利益	△53	638	794	124.4%
四半期純利益	△106	287	394	137.2%

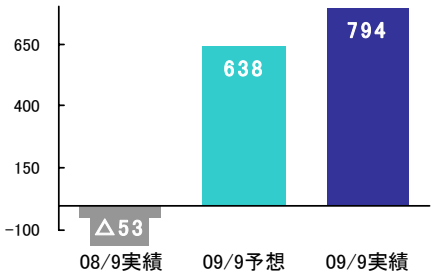
-売上高-



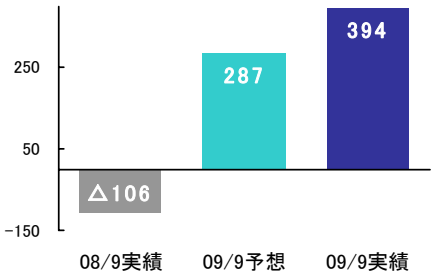
-営業利益-



-経常利益-



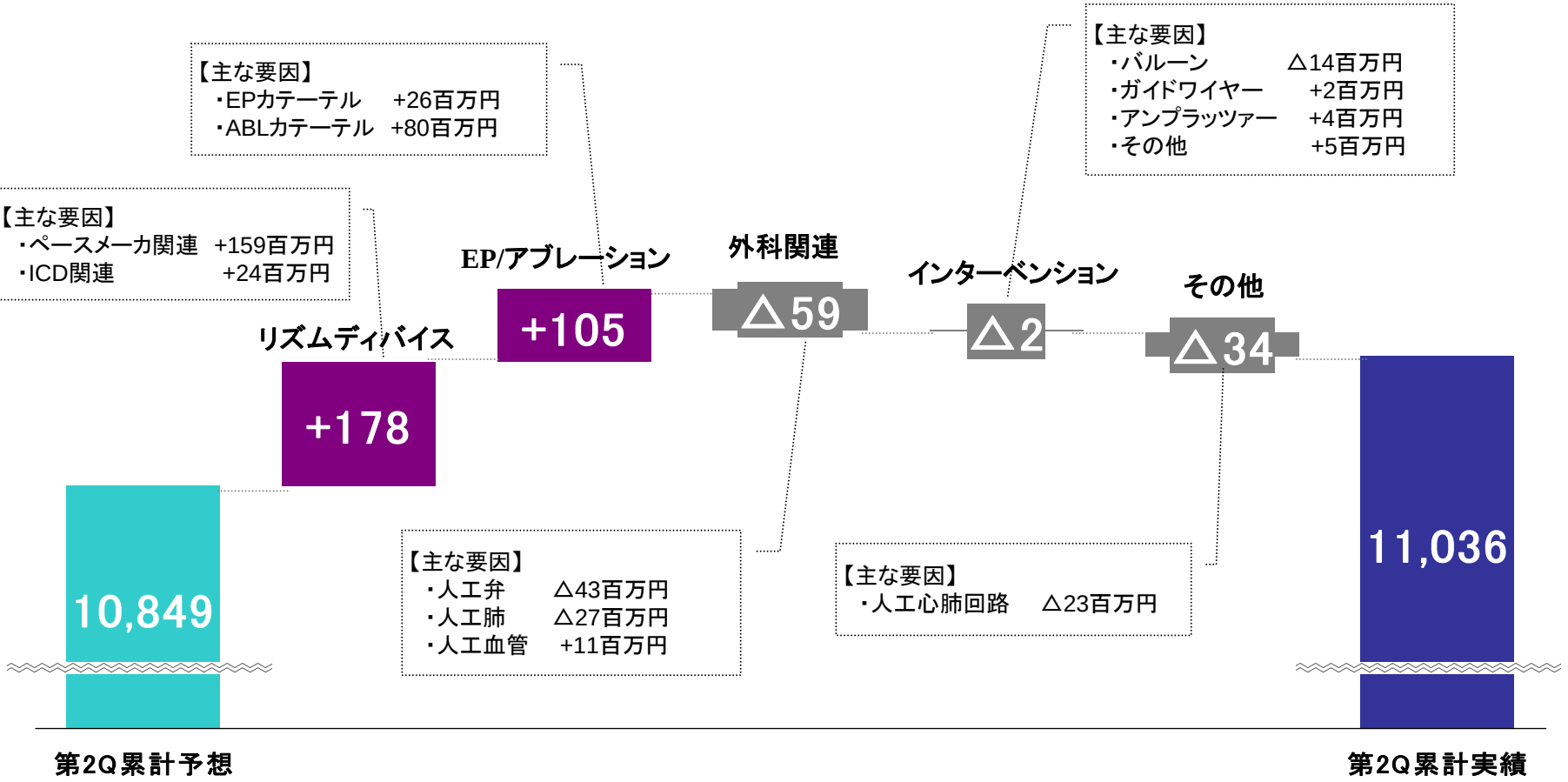
-四半期純利益-



（単位:百万円）

予想差異要因－売上高（連結）

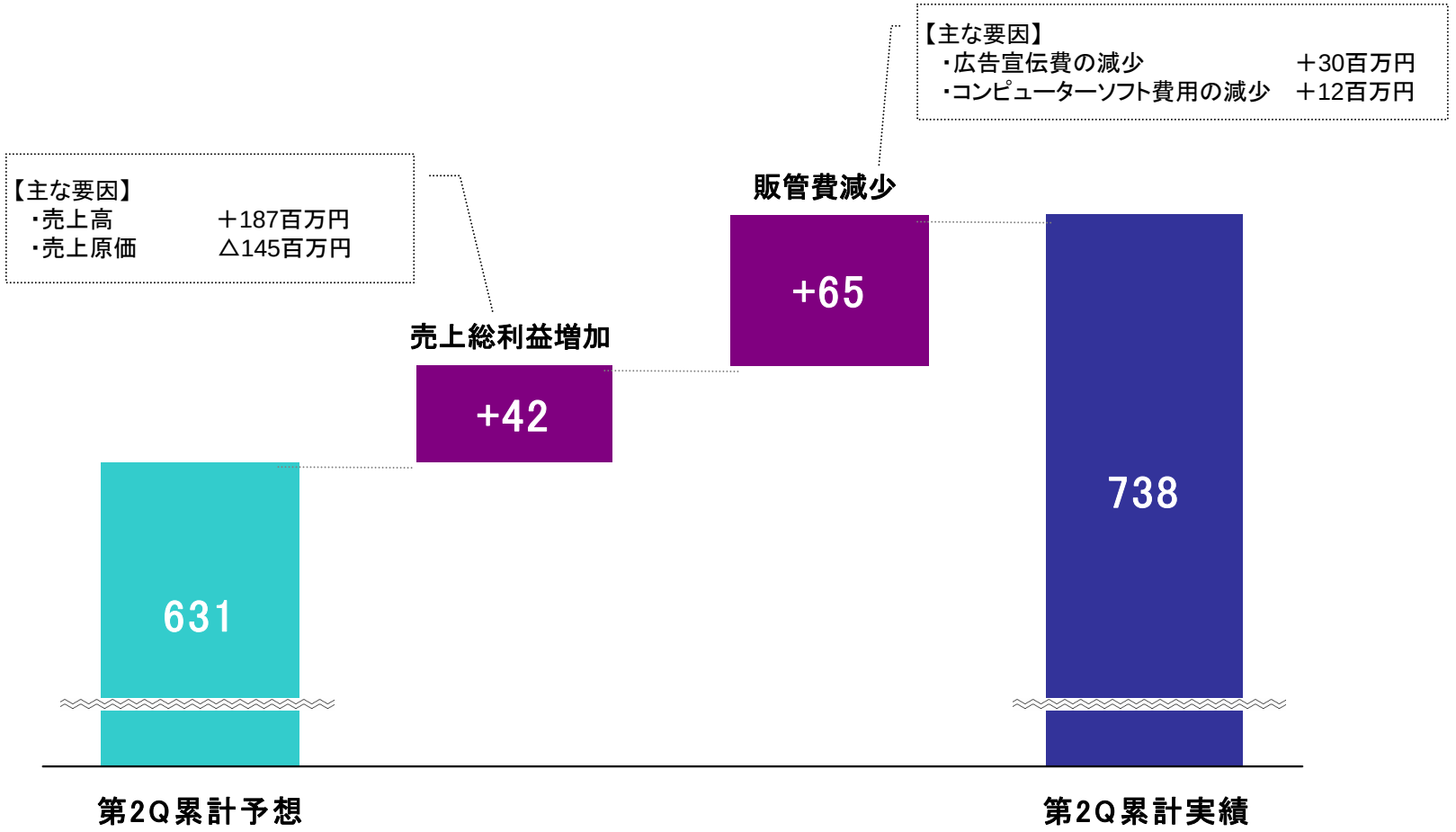
◆予想差異　＋187百万円



（単位；百万円）

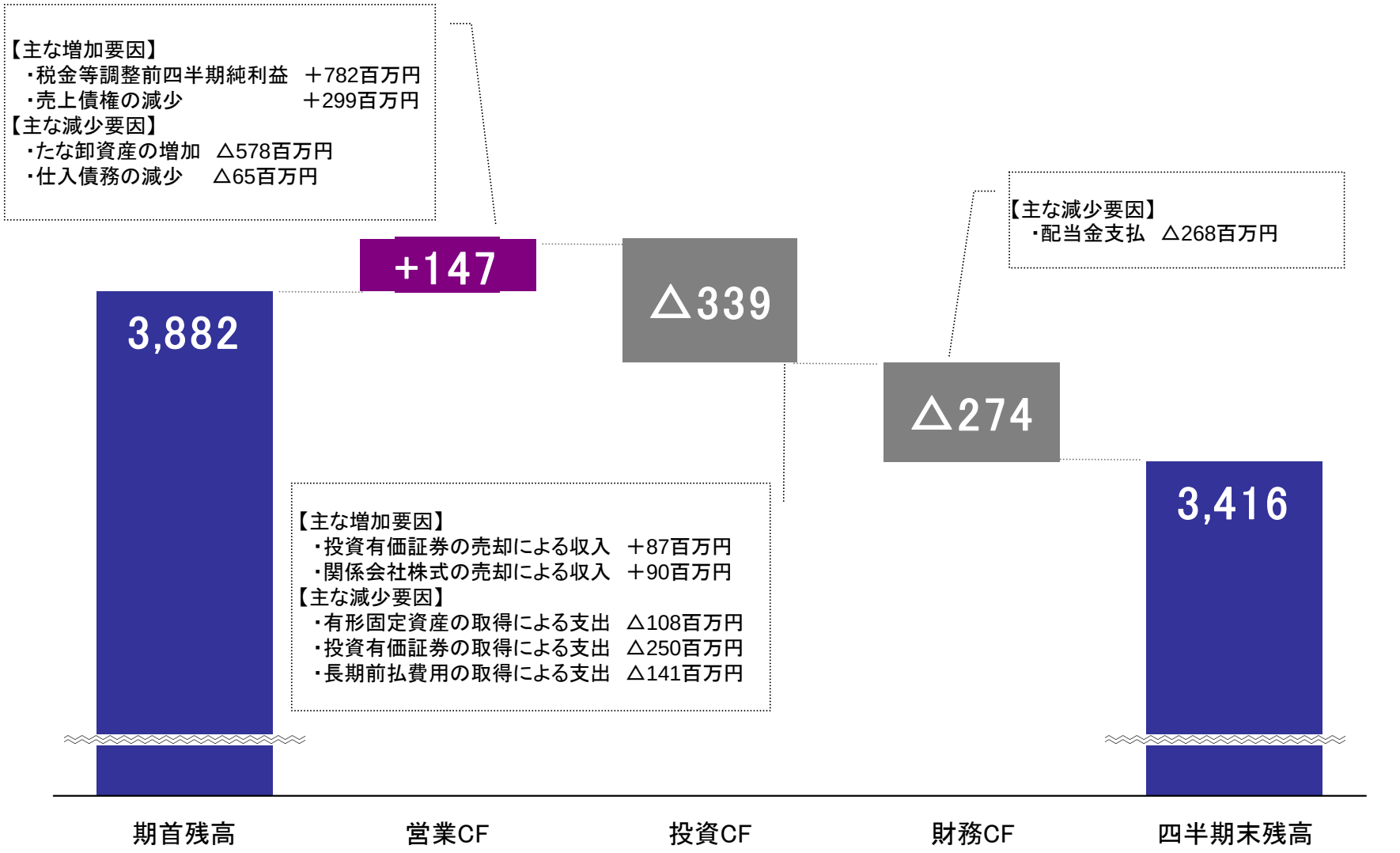
予想差異要因－営業利益（連結）

◆予想差異　＋107百万円



（単位；百万円）

キャッシュ・フローの状況（連結）

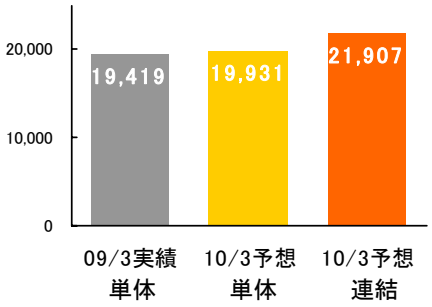


（単位；百万円）

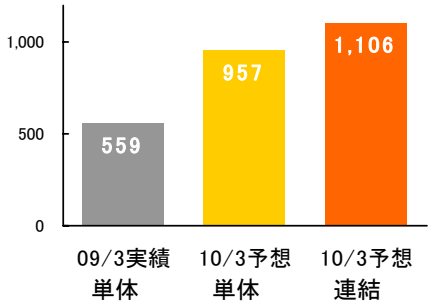
2010年3月期通期業績予想

	2009/3期 実績	2010/3期 予想			
	単 体	単 体		連 結	
（単位;百万円）	金 額	金 額	前期比増減率	金 額	構成比
売 上 高	19,419	19,931	2.6%	21,907	100.0%
営 業 利 益	559	957	71.2%	1,106	5.1%
経 常 利 益	805	976	21.2%	1,098	5.0%
当 期 純 利 益	186	429	130.6%	470	2.1%

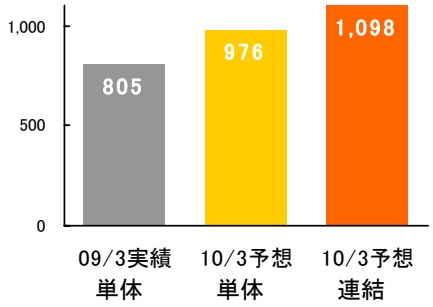
-売上高-



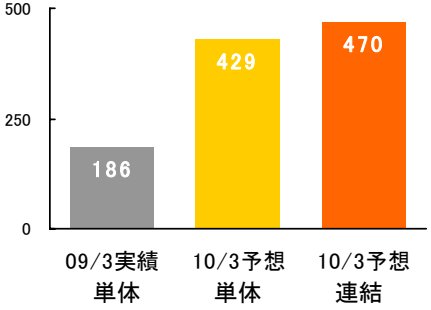
-営業利益-



-経常利益-



-当期純利益-



（単位:百万円）

補足データ

（単位；百万円）	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期 計　画
設備投資額	271	144	305	460	508
減価償却費	211	150	206	253	302
研究開発費	257	202	225	276	309
期末従業員数	364名	370名	419名	（単）430	（単）468
				（連）488	（連）529

(資料)要約損益計算書

(単位:百万円)	2009/3期(単体)				2010/3期(連結)			
	第2Q累計実績		通期実績		第2Q累計実績		通期予想	
	金 額	構成比	金 額	前期比	金 額	構成比	金 額	構成比
売上高	9,117	100.0%	19,419	△2.1%	11,036	100.0%	21,907	100.0%
売上原価	4,827	52.9%	9,629	△9.4%	5,592	50.7%	11,126	50.8%
売上総利益	4,290	47.1%	9,790	6.2%	5,444	49.3%	10,781	49.2%
販管費	4,455	48.9%	9,230	3.6%	4,705	42.6%	9,674	44.2%
営業利益	△165	△1.8%	559	83.0%	738	6.7%	1,106	5.1%
営業外収益	131	1.4%	345	△2.7%	76	0.7%	44	0.2%
営業外費用	19	0.2%	98	42.7%	20	0.2%	53	0.2%
経常利益	△53	△0.6%	805	36.3%	794	7.2%	1,098	5.0%
特別利益	9	0.1%	9	△92.6%	3	0.0%	0	0.0%
特別損失	34	0.4%	233	23.0%	15	0.1%	1	0.0%
税前利益	△78	△0.9%	581	10.0%	782	7.1%	1,097	5.0%
法人税等	28	0.3%	395	35.3%	388	3.5%	626	2.9%
純利益	△106	△1.2%	186	△21.2%	394	3.6%	470	2.1%

（資料）セグメント別売上高

（単位：百万円）

	2009/3期(単体)		2010/3期（連結）			
	2Q累計実績	通期実績	2Q累計実績	通期予想	通期前期比	
ペースメーカ関連	3,792	8,375	5,237	10,063	20.2%	
ICD関連	649	1,312	713	1,328	1.2%	CRT-D含む
その他	40	71	30	68	△4.2%	
リズムディバイス計	4,481	9,759	5,980	11,494	17.8%	
EPカテーテル	712	1,515	938	1,899	25.3%	自社製造製品
ABLカテーテル	884	1,547	1,031	1,706	10.3%	自社製造製品
その他	63	173	50	100	△42.2%	
EP/ABL計	1,660	3,536	2,020	3,706	4.8%	
人工弁	417	811	414	984	21.3%	
人工肺関連	149	231	206	577	149.8%	子会社販売商品含む
人工血管	1,207	2,510	278	687	△72.6	
その他	0	0	0	0	―	
外科関連計	1,773	3,553	898	2,249	△36.7	
バルーン	432	900	448	942	4.7%	
ガイドワイヤー	204	420	230	460	9.5%	自社製造製品
アンプラッツァー	233	495	272	545	10.1%	
その他	332	752	429	845	12.4%	フィルトラップ含む
インターベンション計	1,201	2,568	1381	2,794	8.8%	
その他	―	―	755	1,663	―	連結子会社販売商品
合計	9,117	19,419	11,036	21,907	12.8%	

Japan Lifeline Co., Ltd.

課題と展望

代表取締役社長
鈴 木　啓 介

リズムディバイスの現況

◆第2Q累計売上高　33.4%増(前期比)

ーソーリン・グループ商品の市場への浸透が進む

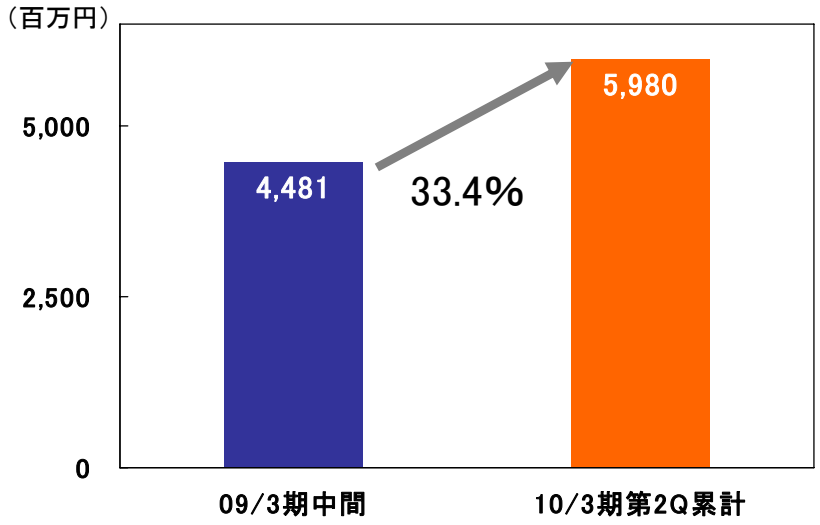
ーペースメーカ「reply」の販売が好調

売上数量　前期比25.4%増

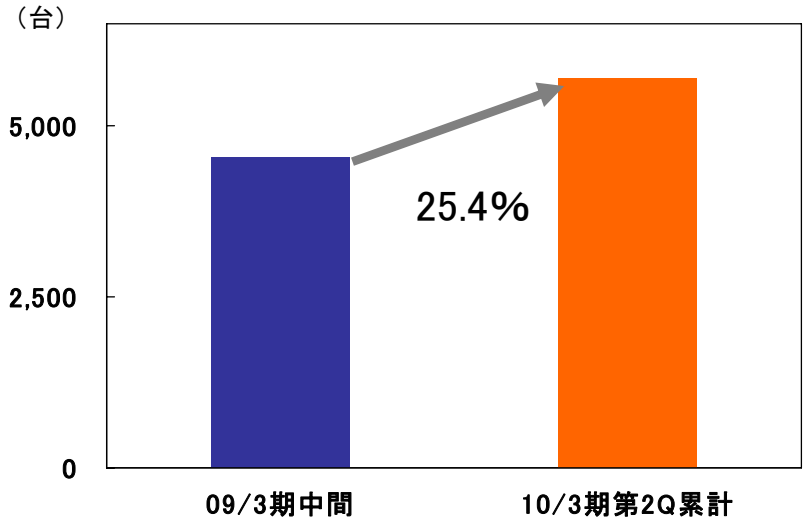


ペースメーカ「reply」

ーリズムディバイス売上高ー



ーペースメーカ売上数量ー



リズムディバイスの通期見通しと課題

◆下期も堅調に推移する見通し

ー通期売上高予想 11,494百万円 （前期比17.8%増）

ーICD「ovatio」の拡販に注力



ICD「ovatio」

◆新商品の早期導入を目指す

High Energy Deviceの導入

ー「Paradym ICD」

2011年3月期第2Q　販売開始予定

ー「Paradym CRT」

2011年3月期第3Q　販売開始予定



CRT-D「Paradym CRT」

EP/アブレーションの現況

◆EP・アブレーションカテーテルの売上がともに伸長

EPカテーテル

ー売上高実績（第2Q累計）　938百万円（前期比31.8%増）

アブレーションカテーテルに続き、シェア拡大を目指す

アブレーションカテーテル

ー売上高実績（第2Q累計）　1,031百万円（前期比16.6%増）

競合製品の影響が当初の想定を下回る

J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

EP/アブレーションの通期見通し(１)

◆EPカテーテルは上期売上水準を持続

－通期売上高予想

1,899百万円 （前期比 25.4%増）

◆アブレーションカテーテルは競合製品の影響を勘案

－通期売上高予想

1,706百万円 （前期比 7.7%減）



EP Star Libero

EP/アブレーションの通期見通し(２)

◆EPカテーテルの新商品を発売

－マイクロカテーテル「PATHFINDER」

－2009年12月販売開始予定

【PATHFINDERについて】

－非常に細く、優れた末梢到達性を持つ
－高品位な電位を確保
－製造業者：カーディマ インク（CARDIMA, Inc.）（米）
－保険償還価格　261,000円（20極）



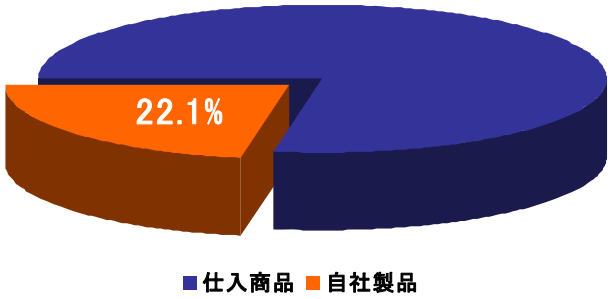
新商品
PATHFINDER

自社製造製品の現況

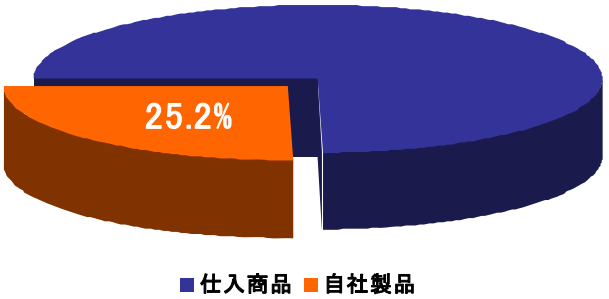
◆自社製造製品の比率高まる

－売上高実績（第2Q累計）　2,251百万円（前期比21.0%増）
－粗利高実績（第2Q累計）　1,319百万円（前期比31.1%増）

－売上高構成比－



－粗利益構成比－



◆中期目標

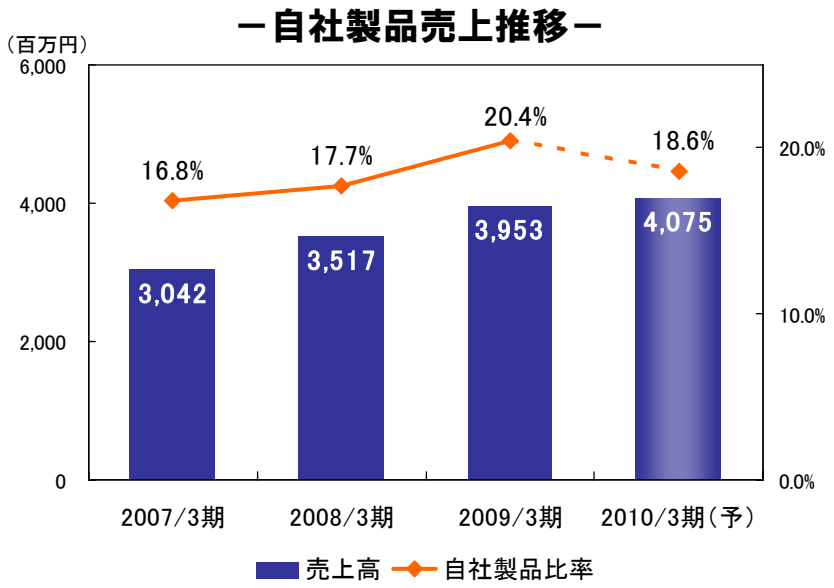
－売上高構成比　25%
－粗利益構成比　30%

※自社製品にはEPカテーテル、アブレーションカテーテルに加えガイドワイヤー等全ての自社製造製品を含む

自社製造製品の通期見通し

◆売上高増加を見込むが構成比は低下

－通期売上高予想
　4,075百万円
－全社売上高比 18.6%
－リズムディバイスの伸長
　により構成比は低下



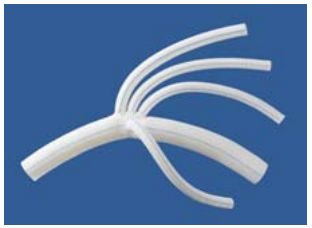
◆海外展開への取組みを進める

－海外協力工場との提携を強化
－中国におけるビジネス展開を模索

外科関連の現況

◆人工血管は生産能力に課題





J Graft シールド NEO
JUNKEN MEDICAL社製

－売上高実績（第2Q累計）
　278百万円（前期比76.9%減）
－今期より子会社製品への切替を実施
　生産効率を高め当初見込みを上回る増産を達成

◆ソーリン・グループ製人工弁の取扱を開始

－売上高実績（第2Q累計）
　414百万円（前期比0.8%減）
－機械弁の市場シェア低下
　生体弁や弁形成術への治療法のシフトが背景

外科関連の見通しと課題

◆人工血管の生産能力増強

－通期売上高予想　687百万円
　下期は、上期比 47.1%増を見込む
－生産工程の見直しによる増産
－新工場の建設により供給規模拡大
　（2010年下期稼動予定）

◆人工弁

－通期売上高予想　984百万円
－早期の生体弁導入を目指す



生体弁「Mitroflow」



スーチャレス弁
「Perceval」

インターベンションの現況

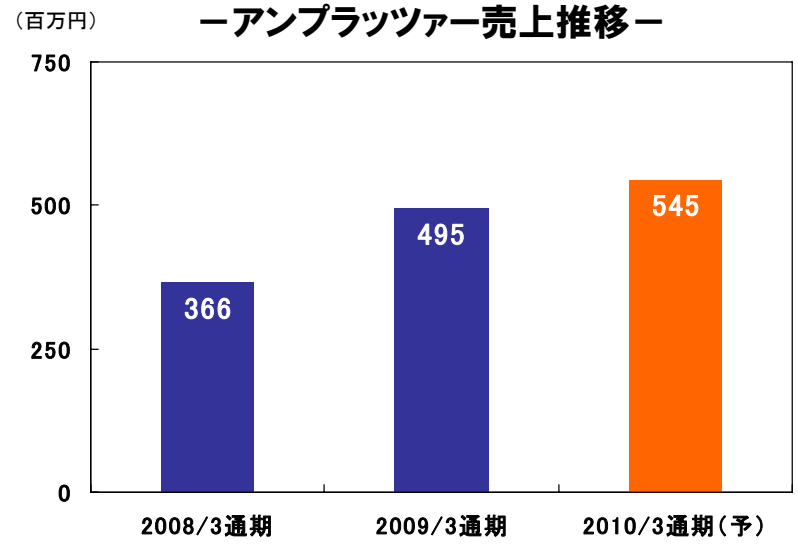
◆新領域への取組みによる効果

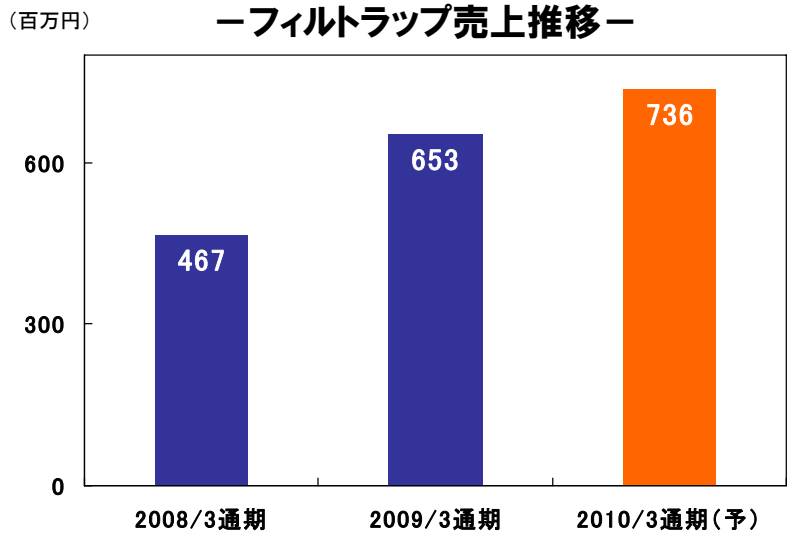
売上高実績(第2Q累計)

ーアンプラッツァー　272百万円(前年同期比 16.7%増)

※認定施設数　19施設(2009年9月現在)

ーフィルトラップ　387百万円(前年同期比 37.2%増)





インターベンションの見通しと課題（１）

◆アンプラッツァー商品の拡充

ーPDA（動脈管開存症）用デバイス
「アンプラッツァー・ダクト・オクルーダー」
7月より販売を開始



「アンプラッツァー・ダクト・オクルーダー」
保険償還価格　332,000円

ー多孔性ASD（心房中隔欠損症）用デバイス
今期中の薬事承認を目指す

ー専門組織を設置しさらに注力
EST部（Endvascular & Structural Therapeutics）

インターベンションの見通しと課題（２）

◆ガイドワイヤーを刷新

ーアスリート・プレミアム
　9年ぶりのフルモデルチェンジ

ーアスリート・ウィザード
　高度に狭窄した病変部における高い通過性
　課題となっていた供給体制が改善
　本格的な拡販へ

ーー幅広い症例をカバーする商品ラインナップ

インターベンションの見通しと課題（３）

◆新デバイスの独占販売契約を締結

契約先	ボルトンメディカル社
契約締結日	2009年9月7日
契約期間	保険償還価格決定の日から5年間 （以降2年毎の自動更新）
対象製品	胸部大動脈ステント付グラフト “RELAY”シリーズ

【ボルトンメディカル社概要】
会社名　ボルトンメディカル社（Bolton Medical Espana S.L.U）
本社　バルセロナ（スペイン）
従業員数　79名
Werfenグループ（スペイン）傘下

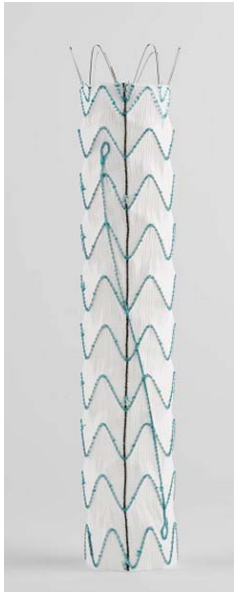
インターベンションの見通しと課題（４）

◆胸部大動脈ステント付グラフト

ー外科手術に比べ低侵襲な治療が可能

ー保険償還価格　162万円（1セット）

【動脈瘤のステント付グラフトによる治療】
動脈瘤の治療として一般的に行われている、外科手術による人工血管への置換に対し、足の付け根部分の動脈からカテーテルを挿入し、このカテーテルを通じて人工血管を動脈瘤の部分に留置し、瘤内部への血流を遮断することにより、動脈瘤の拡大、破裂を防止することで治療を行う。
外科手術に比較して、低侵襲であることから欧米では既に広く普及している。



「RELAY」

◆「RELAY」について

ー国内では2008年に他社製品が薬事承認を取得済

ー2012年度の国内導入が目標

ー2015年度 年間売上高10億円 シェア3割を目指す

End of Presentation



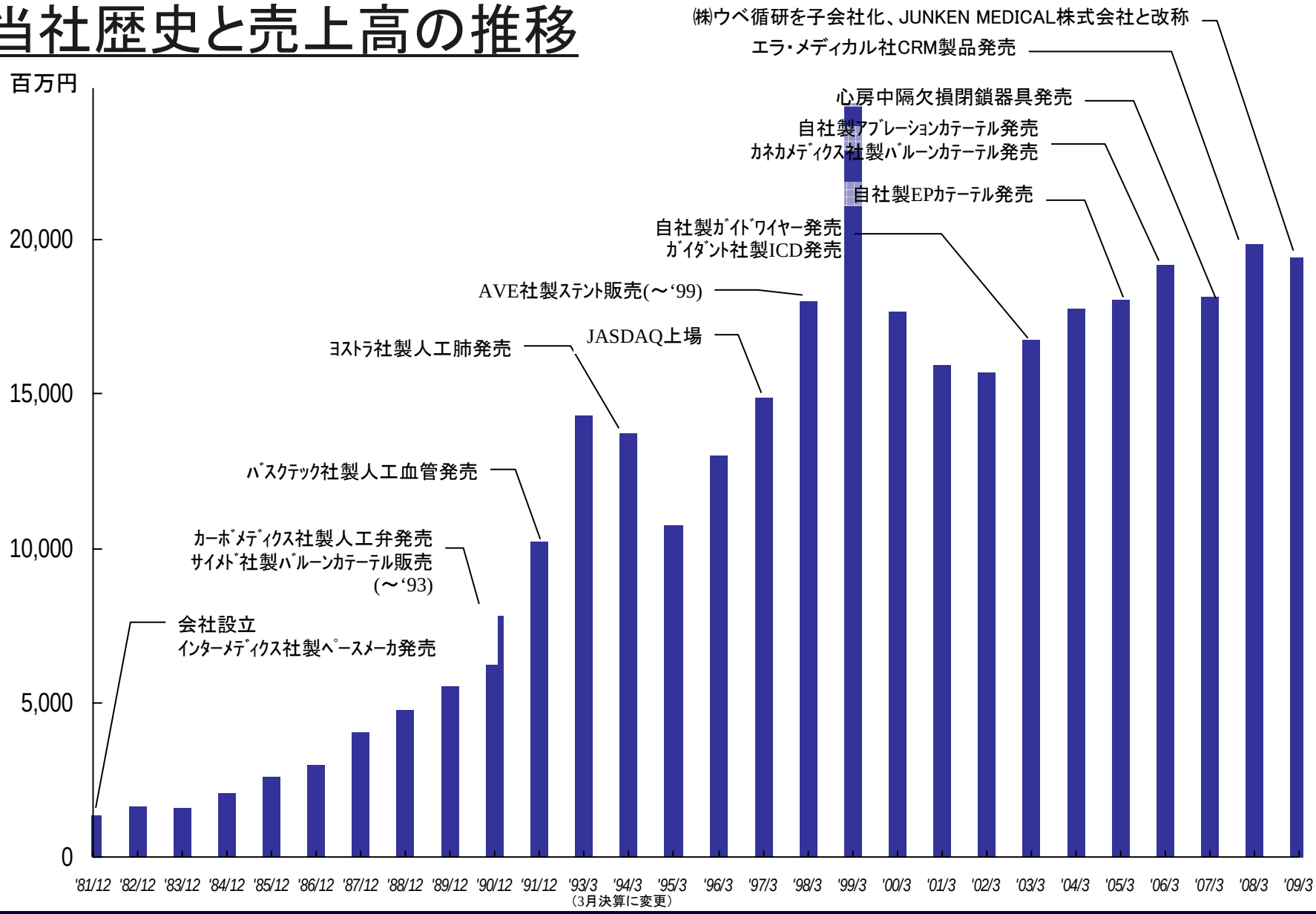
... for patient comfort.

Japan Lifeline Co., Ltd.

(参考)会社概要

【商　　号】日本ライフライン株式会社
【代 表 者】代表取締役社長　鈴木　啓介
【本　　社】東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
【設　　立】1981年2月6日
【上　　場】1997年12月8日（JASDAQ）
【証券コード】7575
【事業内容】医療機器の輸入、製造および販売
【資 本 金】2,115百万円
【従業員数】連結 488名/単体 430名（2009年3月末現在）
【事 業 所】営業所（25）、出張所（3）、
ディストリビューションセンター
リサーチセンター、浮間ファクトリー
天王洲ACCADEMIA（研修センター）

当社歴史と売上高の推移



事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、の4つに大別されます。

EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

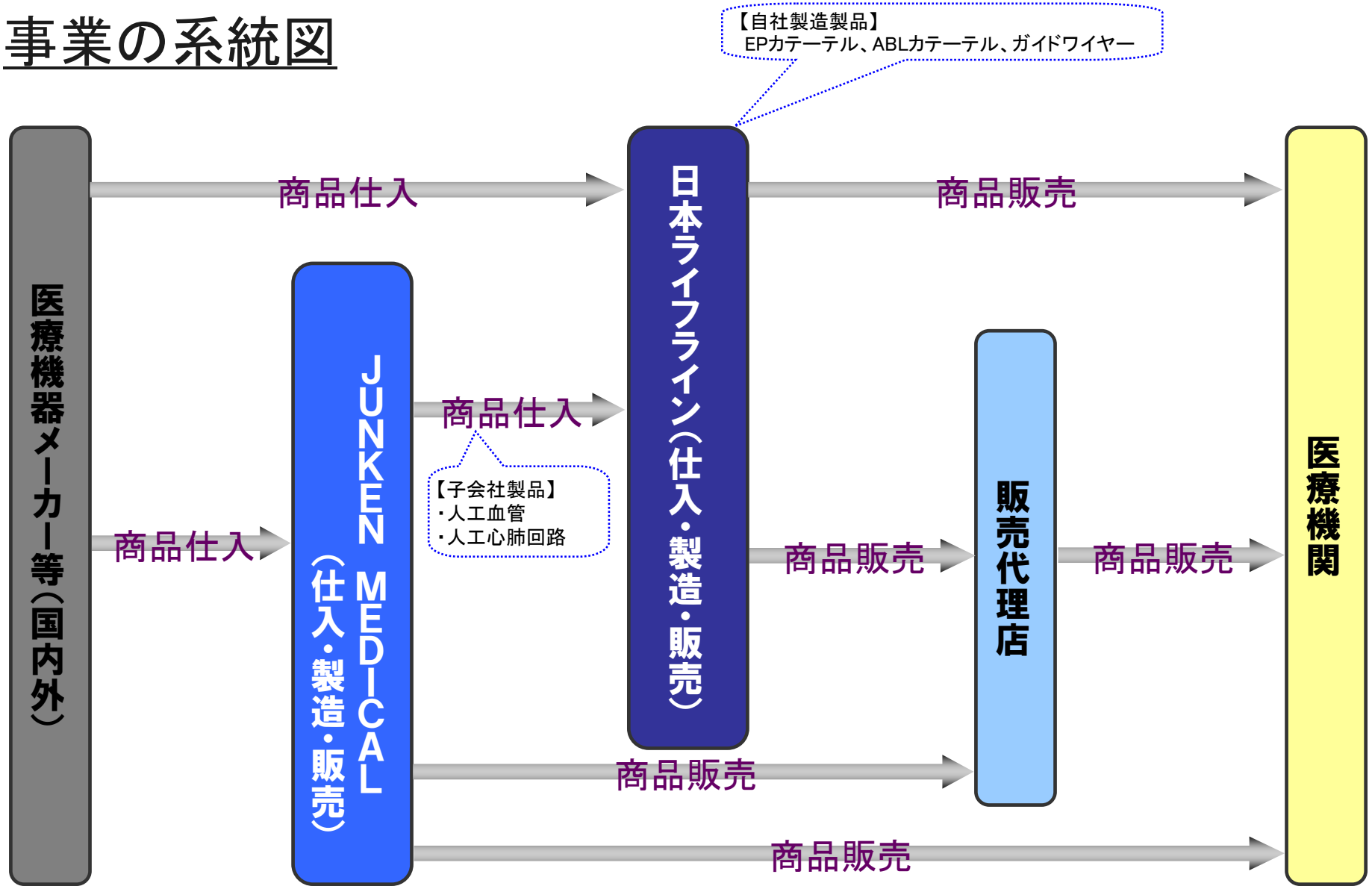
リズムマネジメント
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。



インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

事業の系統図


【自社製造製品】
EPカテーテル、ABLカテーテル、ガイドワイヤー
医療機器メーカー等（国内外）
商品仕入
日本ライフライン（仕入・製造・販売）
商品販売
医療機関
JUNKEN MEDICAL（仕入・製造・販売）
商品仕入
【子会社製品】
・人工血管
・人工心肺回路
販売代理店
商品販売
商品販売
商品販売
商品販売

商品紹介:リズムデバイス



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓ペースメーカ

(Ela Medical社製)

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。



ICD(植込み型除細動器)

(Ela Medical社製)

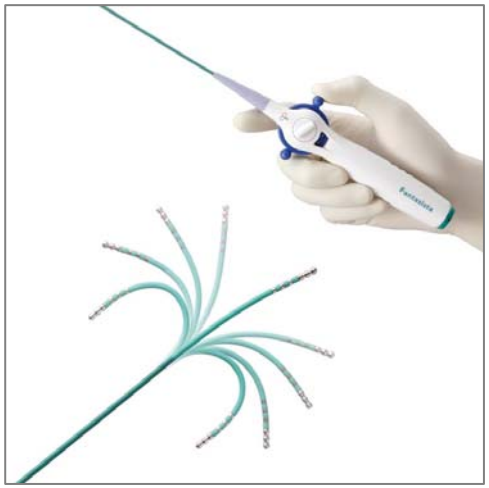


ホルター心電計

(Ela Medical社製)

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

商品紹介：EP/アブレーション



アブレーションカテーテル

（自社製造製品）

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP（電気生理用）カテーテル

（自社製造製品）

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

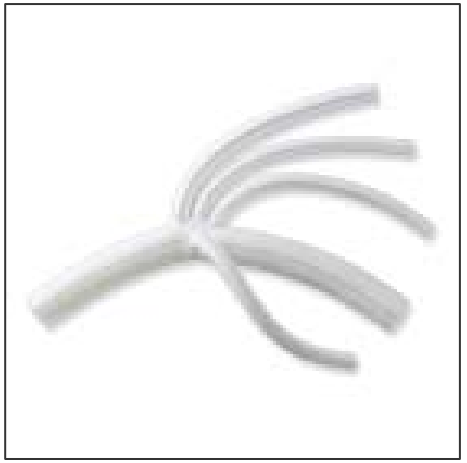
商品紹介：外科関連



人工心臓弁

（Carbomedics社製）

心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。



人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製）

動脈瘤（動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する）などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工弁付血管

(Carbomedics社製)



人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

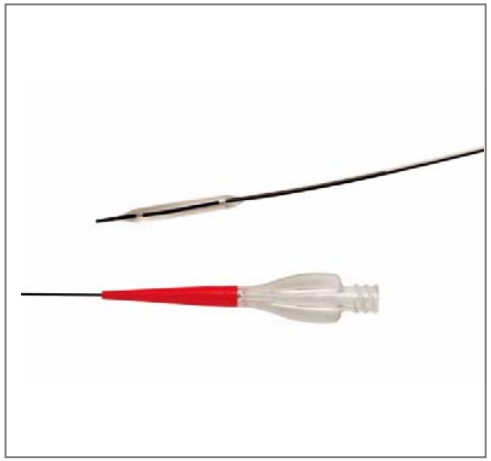
人工肺

（Sorin Group社製）



心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

商品紹介：インターベンション

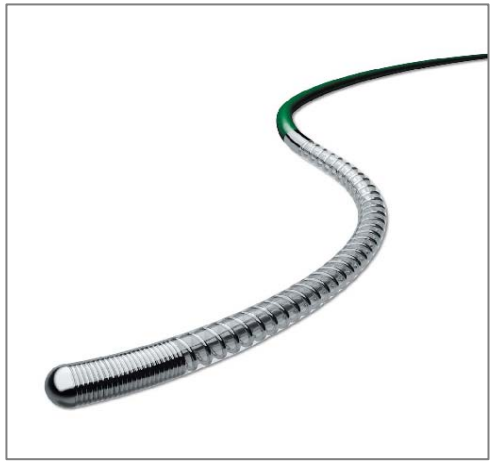


バルーンカテーテル

（カネカメディックス社製）

心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。



ガイドワイヤー

（自社製造製品）

心房中隔欠損閉鎖器具

（AGA Medical社製）

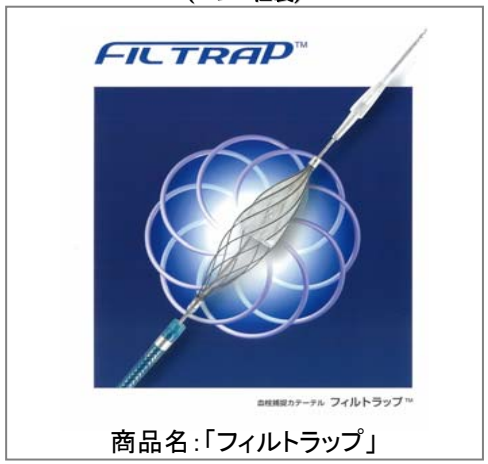


商品名：「アンプラッツァー」

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血栓異物除去用カテーテル

（ニプロ社製）



商品名：「フィルトラップ」

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

■ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合せ先

日本ライフライン株式会社
経営企画室　山田
電話　03-6711-5214
Mail　ir@japanlifeline.com
URL　http://www.jll.co.jp



... for patient comfort.